

## 平成25年度 学校関係者評価報告書

平成26年 5月 7日

- 目 的 学校関係者評価は、本校が作成した学校自己評価および保護者評価結果に基づいて、地域・同窓会・保護者会から学校関係者を招き、相互に意見交換を実施して、本校教育の向上を目指すものである。
- 日 時 平成26年4月5日（土）PM1:00開始 PM2:20終了
- 場 所 本校来賓室
- 委員会 東陶器校区自治連合会会長 岸田 光雄 氏  
西陶器校区自治連合会会長 畑中 一巳 氏  
福田校区自治連合会会長 静 又三 氏  
精華高等学校保護者会会長 中村 悦代 氏  
精華高等学校同窓会会長 岡村 峰代 氏  
精華高等学校校長 正川 昌彦  
精華高等学校教頭 二階堂 和幸  
精華高等学校事務長 森脇 雅郎
- 次 第 1 理事長挨拶  
2 校長挨拶  
3 自己紹介  
4 平成25年度学校自己評価および保護者評価結果の説明  
5 意見交換  
6 評価

### 評価報告

#### 1 めざす学校像

創立90周年に向け、教育活動の活性化を促す。特に生徒自身の向上心の伸長を目標に学習活動・部活動等の充実に努力する。また地域と連携し、地域から信頼される学校づくりを基本として、社会に貢献し、府内での学校認知度を高める。

平成26年度は現状維持ではなく、学校組織と運営の再編を図り、時代や社会の変化に対応出来る学校づくりをめざす。

## 2 評価内容

### ◎ 重点的に取り組むことが必要な目標

- ・学校周辺の道路が狭いため、交通マナーの徹底指導が必要。
- ・学校を出来る限り開放し、地域との連携強化が必要。
- ・私学としての教育を伸長し、学校の責任を果たしていく。
- ・当然に守るべきルールを適確に指導していく生徒指導が望まれる。

### ◎ 達成状況及び取り組み状況

- ・学校自己評価において、教員の評価が低下している点について、教員自身が学校に高いレベルを求めているように思える。
- ・地域としては、学校が主催するイベント等において、しっかりと応援したい。
- ・吹奏楽部や演劇部の活動は、地域にとっても誇らしく感じる。
- ・精華高校の卒業式は、毎年感動を与えてくれる。

### ◎ 今後の改善すべき点

- ・自己評価の低下を受けて、愛校心を育てる教育が大切なのではないか。
- ・教員の評価を実施していかなければならない。
- ・学校知名度の上昇をめざす。

## 3 今後の対応

初任者研修・中堅者研修等の学内研修制度を充実させる。また学外の研修にも目を向け、教職員個々のレベルアップのため、積極的な参加を心掛ける。

生徒活動の充実のために、まず学習活動を大切にする。基本である授業には、教員一人ひとりが情熱を持って臨み、生徒全員の希望進路実現に向けて鋭意努力する。

また部活動については、本校は文化系が充実してきているが、運動系が伸び悩んでいる。この活性化のためには学校のバックアップが必要と考えられる。生徒が安心して取り組める環境作りをめざす必要がある。

管理職は、現状維持を良しとせず、積極的に組織改編・教育内容の見直しを推進しなければならず、その責任は大きいと思われる。